

# 群馬県がん患者団体連絡協議会 ニュースレター♪

2008年4月1日 第7号

編集・発行/(財)群馬県健康づくり財団



## がん連協 発足1周年を迎えました

平成19年3月24日に発足した群馬県がん患者団体連絡協議会は無事に1周年を迎えることができました。

発足当初、11だった参加団体も仲間が増え、現在13団体が参加しています。

それぞれの会の活動を進めながら、相互の情報交換や協力体制の整備をし、群馬県のがん予防と早期発見の推進、医療・ケアの向上に向けた活動を実践しています。この1年は、各会が独自にすすめていた活動を他の団体に紹介したり、9月には発足セレモニーと共同キャンペーンを実施しました。

また、19年8月から4回にわたって開催された群馬県がん対策推進協議会に患者会代表として参加し、がん対策推進計画の策定に患者会としての意見を述べました。

このように少しずつではありますが、着実に患者会のまとまりとしてのがん連協は成果を挙げています。2年目を迎えた今年もみなさんとともに活動を続けていきたいと考えます。

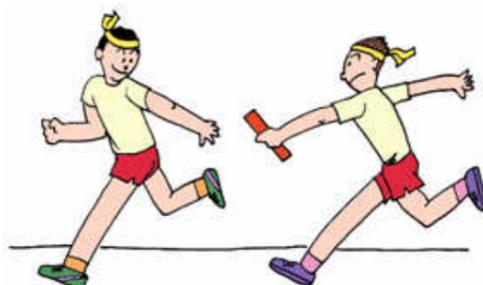
## 群馬県がん対策推進計画(案)に 「がんサロン設置を検討する」が盛り込まれました

発足1周年の記事でも触れたように、4回にわたって開催された群馬県がん対策推進協議会で群馬県がん対策推進計画策定の検討が行われ、案が提出されました。

計画の期間は平成20年度から24年度までの5カ年計画とし、必要があれば計画期間が終了する前でも変更を加えるそうです。

この中の「第3分野毎の施策の推進 6がん医療に関する相談支援及び情報提供」に「がんサロンの設置」が盛り込まれています。…がん患者と家族にとっては、診断と治療を終え、経過を観察する時期に入ると再発や転移への不安、心配、恐れなど精神的にも孤立した状況に陥りがちです。がん患者と家族が気軽に立ち寄り、患者や家族同士の交流、情報交換などができる場としての「がんサロン」の設置をがん患者団体等関係者と検討します…とあります。今後、患者や家族にとってよりよい環境を整えられるよう行政や医療機関と連携し、群馬県独自の対策が実現できるよう働きかけていきたいと思います。

## リレー通信 各団体の活動



がん連協の各団体リレー通信

第5回目は  
群馬がん看護研究会  
紹介者は神田清子先生です

群馬県において、がん看護に関する研究、教育および実践の発展と向上に努め、市民の社会福祉に寄与することを目的に平成16年11月13日 群馬がん看護研究会を設立し、学術集会の開催やがん看護に関する情報交換および研修会を行っています。

群馬大学医学部保健学科に事務局があり、がん看護分野の教員などが運営しています。

がん看護専門看護師、群馬県がん診療連携拠点病院の看護管理者、患者会の代表者には理事になっていただきネットワークづくりを行っています。本会の特徴としては、広く、がん患者・家族にも開放し、看護の受け手とともに看護・ケアを考えているところです。会員は現在約150名です。

活動内容：

① 群馬がん看護フォーラム：毎年6月 がん患者・家族の体験者の語りから多くのことを学んでおります。この他、研究発表会を行っています。

② スキルアップセミナー研修：毎年11月 がん看護の知識・技術を磨くために、テーマをさだめて研修会を行っています。これまで、がん化学療法の基礎知識、実技演習、有害事象事例の検討会、セクシャリティ、在宅看護に関する講演会やシンポジウムを行っています。

③ がん患者団体連絡協議会との連携 がん撲滅キャンペーンへの参加です。各団体と連携をとりながら行っていきたいと考えております。

# 掲示板

※ 掲示板に掲載するイベントをお持ちの団体の方は下記事務局まで情報をお寄せ下さい。  
(データによる提供の他、FAX、チラシでも結構です)

次回発行予定は6月上旬です。。。



今回は4月～5月の催し等を紹介します。

ホスピスケア研究会のみなさんが制作した「ひでこのおしゃべりレシピ集」は大人気で事務局は大忙しだそうです。

## 群馬ホスピスケア研究会

### 愛情たっぷりの「ひでこのおしゃべりレシピ集」をご紹介します

太田市の関口秀子さんが、ご家族のために作ってきた料理をまとめた「ひでこのおしゃべりレシピ集」(群馬ホスピスケア研究会制作)が発行されました。

関口さんは、現在、渋川市の緩和ケア病棟に入院されていますが、若い頃から料理が得意で、家族の健康を考え、多忙な仕事をこなしながら台所に立っていたそうです。

看護師さんに食べさせたいという熱意がきっかけでレシピ集を発行。説明した調理法を家族が病床脇で書き取り、看護師がワープロで清書したそうです。

60を超える”口述レシピ”を目にしたホスピスケア研究会のメンバーが、病気と闘いながら「何かしたい」という関口さんの気持ちを応援したいと本にまとめることを提案し、実現したそうです。

1冊目と続編の2冊があり、各250円。手間がかからず、安くておいしい料理ばかりです。売り上げは同研究会に寄付されるそうです。

問い合わせは群馬ホスピスケア研究会  
電話 027-353-1341



## あけぼの群馬

### 母の日キャンペーンを実施します

あけぼの群馬では今年12回目となる母の日キャンペーンを実施します。会員が、自己検診・マンモグラフィー検診を呼びかけるティッシュを配布したり、健康づくり財団からもマンモグラフィー検診車を展示し、自由に見ていただく予定です。

日時：平成20年5月11日(日) 正午～

場所：JR高崎駅前

ぜひお出かけになって下さい。ピンクの旗、帽子、ブルゾンで元気よく呼びかけています。



## 健康づくり財団

### 「がん検診のすすめ」冊子をおわけします

日本対がん協会より「がん検診のすすめ—早期発見で早期治療を—」という冊子が届きました。(今回同封します)

がん検診を呼びかける広報資材として広く配布する予定ですが、余部もありますので、ご利用になる団体の方は、がん連協事務局までご連絡をお願いします。



## 【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】

〒371-0005 前橋市堀之下町16-1  
(財)群馬県健康づくり財団 総務部 総務課

電話027-269-7811・FAX027-269-8928  
E-mail soumu3@gunma-hf.jp



## 編集後記

ついにスギ花粉の季節がやってきました。飲み薬、目薬、マスク…と完全防備です。この間まで寒さに震えていたのに、すっかり春めいてきました。そういえば、この冬は「湯たんぽ」が売れに売れたそうです。我が家も父親が愛用しています。これを発明した人はすごいなあと思います。桜の季節になりますが、花より団子…となりそうです。

編集担当 荒木 美保